

吉無田でそば刈り体験

11月4日、吉無田高原を守る会（渡邊秀和理事長）が一般参加者を呼び込み、吉無田のそば畑でそば刈り体験を行いました（約20人が参加）。このそば畑は、以前は耕作放棄地でしたが、当会が農地を借り上げ、農作物が育成できる農地へと再生しました。収穫したそばの実を唐箕にかけ選別し、石臼でそば粉にします。参加者は、挽きたてのそば粉にお湯をかけて食べる「そばがき」を食べました。熊本市内から参加した沖田和子さんは「何もかも初めてで楽しかった。耕作放棄地を利用して活動することはいいことだと思う。また参加したい」と笑顔で話しました。



唐箕にかけ選別する参加者

みどりの里で国際交流

11月7日、認定こども園みどりの里（北森光代園長・155人）にアメリカの宣教師ジョシュア・キッドウェルさんと妻のジェシカさんが国際交流のために訪れました。キッドウェル夫妻は、熊本地震をきっかけに益城町を中心に仮設住宅の人たちの心のケアにあたっています。子どもたちは、粘土や折り紙を使いながら英語を学び、体を動かしながら、英語と親しみました。最後は、元気よく「センキュー！（ありがとう）」と習いたての英語を使い、笑顔でお別れしました。



みんな英語に興味津々！

秋の叙勲～この道一筋～

徳島繁美さん（滝尾）は、長年の技能検定委員としての功績が認められ、瑞宝単光章を受章しました。徳島さんは平成3年から現在まで検定委員として活躍しており、現在は農業大学校で学生や新規就農者を対象に農業機械に関する研修などを行っています。「この受章は検定委員の関係者や家族の支えがあってこそもの。感謝したい」と喜びをかみしめていました。徳島さんは「これまで技術一本でしたが、機械に携わることはいくつになっても楽しみであり、今後も続けていきたい」と大好きな機械への思いを語りました。



◀徳島さんが受章した瑞宝単光章。

ずいほうしょうじゅしょう
瑞宝小綬章—防衛功労

さきばら あきら
榊原 明さん（滝尾）

平成30年の秋の叙勲では、御船町滝尾地区から2人が受章されました。



ずいほうたんこうしょう
瑞宝単光章—技能検定功労

とくしま しげみ
徳島 繁美さん（滝尾）

Profile ～昭和51年に熊本ヤンマーに就職。在職中に農業機械整備1級技能検定に合格。その後、技能検定委員として退職後も続け、今年で27年目。その功績を讃えて厚生労働大臣や各関係団体から感謝状や表彰状を授与されている。



＜試合結果＞ 長洲町総合スポーツセンター

	VS 相手チーム	試合結果
予選	新和子ども会	25 - 0 (ノーヒットノーラン達成)
//	岡東子ども会	4 - 1
準決勝	荒尾府本 SC	8 - 1
決勝	深海子ども会	5 - 1

小坂ジュニアソフト全国大会へ

第12回春季全日本小学生ソフトボール大会熊本県予選会が10月27・28日に開催され、小坂ジュニアソフトボールクラブが3年連続7度目の優勝を果たしました。大会には、5年生以下の新チームで挑み、県内トップを誇る投打守備走塁で順当に勝ち上がりました。エースの本田セナさん（5年）は1試合目をノーヒットノーランで抑えるなどの活躍。そして、全国への切符を手に入れました。全国大会は、平成31年3月23日～26日に高知県高知市で開催されます。



小坂小が稲刈り体験

11月1日、小坂小学校（高森康裕校長・222人）の5年生38人は、徳永廣敏さん（陣）の田んぼで稲刈りを体験しました。この稲は、7月に徳永さんの指導のもと、児童たちで田植えをしてから4ヵ月が経ってできたもの。鎌を使いながら、丁寧に刈っていました。児童たちは、落ちている稲を一つも取りこぼさずに大事に収穫。体験した戸高結衣さんは「いろんな苦労があってお米ができるんだなと実感しました。これからも大切に食べたいです」と話しました。



収穫した稲を脱穀

御船高校が地域と合同訓練

御船高校（西澤頼孝校長）で11月1日、同校主催による震度5以上を想定した地域との合同避難訓練が行われ、住民や木倉小学校などが参加しました。午前10時に地震が発生すると、生徒たちは運動場に一時避難。人員点呼の後、避難誘導班や救急医療班などに分かれ、地域住民や木倉小学校の児童らを誘導し、避難を受け入れていました。生徒会長の野中希望さんは「準備することの大事さを知った。地域と協力し、若い力を活かして地域を支えていきたい」と力強く話しました。御船高校は町防災計画で避難所に指定されています。



1_避難誘導をする御船高校生たち
2_訓練後、消火器の使い方を教わる木倉小学校の児童



2